

ココマ 前面折戸パネル

取付説明書

- ●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

∅ 補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

⚠注意

- ●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ●ココマ本体の施工は、「ココマ ーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編ー 取付説明書(E231)」で施工してください。
- ●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ●スプレー式シリコン系潤滑剤およびアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- ●呼びφ40塩化ビニル管は、現場で手配してください。

<施工上のご注意>

⚠注意

- ●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者 が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- ●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、機能が低下する場合があります。
- ●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ●製品の改造は絶対にしないでください。
- ●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- ●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ●施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

【1】前面出入横枠セット

名 称	略図	員数
妻梁レール		1
下レール		1
ランマフィックス縦枠		2
ランマフィックス縦枠押え縁		3
ランマフィックス上枠		1
ランマフィックス上枠押え縁		2
ランマパネル		1
後付けビート材 前面用		1

【1】前面出入横枠セット(つづき)

名 称	略図	員数
妻梁取付金具		2
ランマ下ビート材		2
下ストレートピース		1
下レール固定裏板		4
【1-1】 φ4×19ナベドリルネジ D=8.2	(+)	2
【1-2】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2	(+)	8
【1-3】φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		4
【1-4】S6フィッシャープラグ		2
【1-5】 φ4.5×63サラ木ネジ D=9	<u> </u>	2
【1-6】 φ4.1×32サラ木ネジ	<u> </u>	2
【1-7】 φ4×16特サラドリルネジ D=6		2
【1-8】 ø4×10サラタッピンネジ3種 D=6	(X):::::::::	4
取付説明書 ココマ-前面折戸パネル-〈E235〉	_	1

【2】前面出入縦枠セット

名称	略図		j	員 数	Ż
10 例	単 台	A	H20	H22	H24
縦枠			2	2	2
前面用縦枠スペーサー 右			1	1	1
前面用縦枠スペーサー 左			1	1	1
縦枠フタ			2	a	a
ベース材束柱			1	1	1

【2】前面出入縦枠セット(つづき)

名称	略図	j	員 数	Ż
		H20	H22	H24
入隅用 コーナー柱スペーサーA	(00)	1	1	1
入隅用 コーナー柱スペーサーB	00	1	1	1
【2-1】 φ4×25 ナベドリルネジ D=8.3	(+)	14	16	18
【2-2】 ø4×16ナベドリルネジ	(†)))))>>	4	4	4
【2-3】 φ4×12 サラタッピンネジ3種 D=6	(X)))))))	4	4	4

【3】折戸パネル部品

名 称	略図	員数
パネルストッパーガイド		1
パネルストッパー		1
取っ手(内側)	6	1
取っ手部外側カバー	0 4 0 4	1
錠部カバー		1
折戸パネル用ヒンジ		2
パネル開き止めアーム		1
【3-1】 φ4×10サラタッピンネジ3種	(X)111111	9
【3-2】 φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6	⊗nnn	9
【3-1】 φ4×14サラタッピンネジ3種	(X)223222	2

【4】側面ベース材 オプション

名 称	略	図	員数
側面ベース材			1

【5】ベース材束柱セット オプション

			員	数
名 称	略	図		
			1747	O'T'/
ベース材束柱			1	3
束柱固定金具		9	2	6
[5-1] φ5×35 ナベセルフタップアンカー	(+))		3	8
【5-2】φ4×16ナベドリルネジ	(+))12		6	18

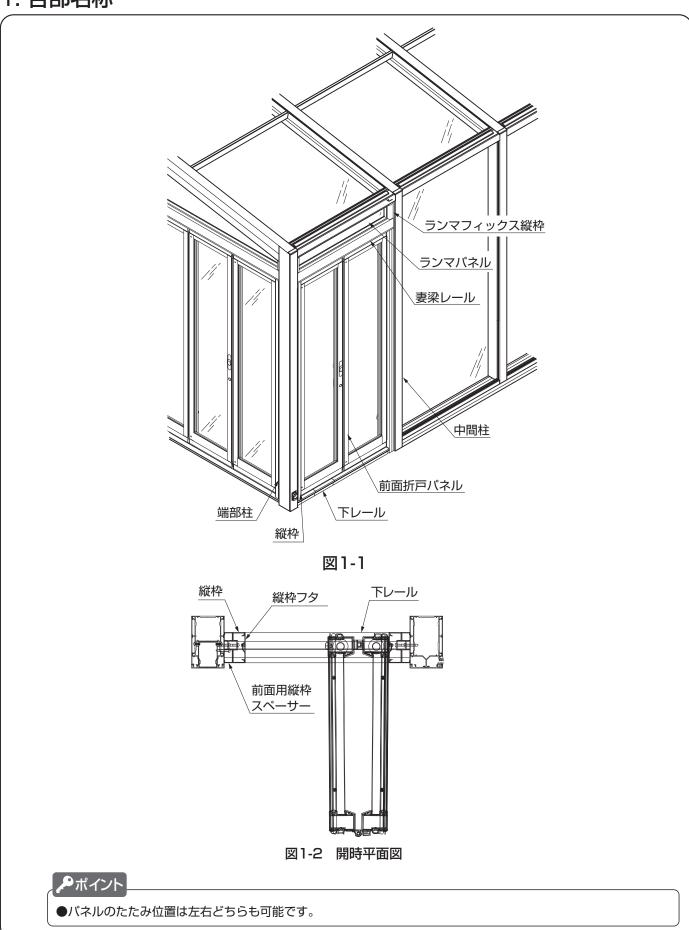
【6】オープンテラス用ビートセット

名 称	略	図	員数
オープンテラス用ビート材			1

【7】土間見切り材

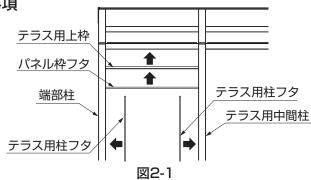
名 称	略	図	員数
			4尺
土間見切り材			1
【7-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2	(+)		4

1. 各部名称



2. 本体の施工について ※本体を施工する時に参照してください。

2-1 取付け前の確認事項



。ポイント

▶ココマ本体の取付説明書を参照して、前面折戸パネルを設置する箇所をテラス枠セットで施工してください。

2-2 テラス用中間柱の加工

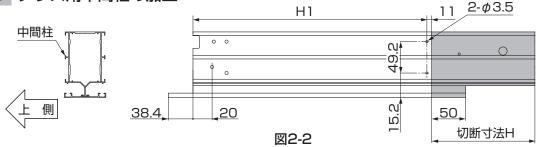


表2-1 H1寸法

H20	2169
H22	2369
H24	2569

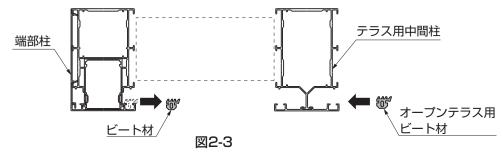
表2-2 切断寸法H

	H20	H22	H24
①基本切断寸法	400	200	0
②F.L.~G.L.寸法=A	550-A	550-A	550-A
③ベースプレート厚	3	3	3
切断寸法	1+2+3		

₽ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

2-3 ビート材の取付け ※柱を建込む前に行なってください。



オープンテラス用 ビート材切断寸法(※)

	切断寸法
H20	1180
H22	980
H24	780

- ①端部柱に取付いているビート材を取外してください。
- ②オープンテラス用ビート材を切断してテラス用中間柱の上面から20mm下げた位置に取付けてください。(※)

ポイント

- ●ココマ本体の取付説明書を参照して、前面折戸パネルを設置する箇所をテラス枠セットで施工してください。
- ③ビート材上部を市販の瞬間接着剤で接着してください。

2-4 柱の建込み

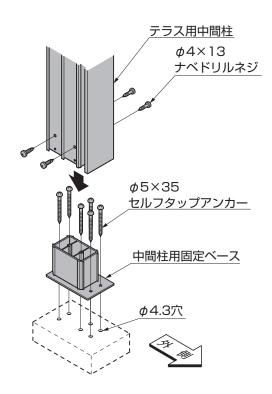


図2-4 柱を埋め込まない場合 (柱固定ベース)

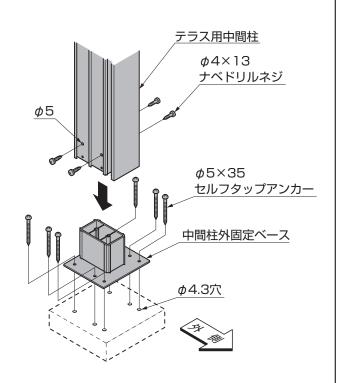


図2-5 柱を埋め込まない場合 (柱外固定ベース)

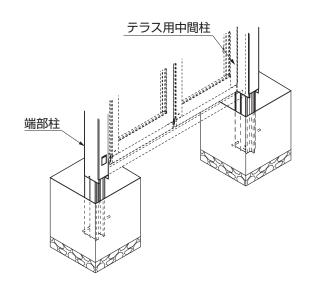


図2-6 柱を埋め込む場合

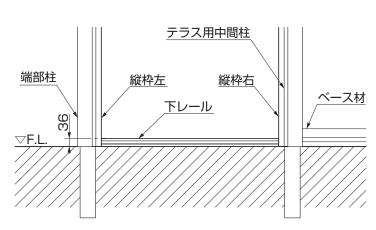
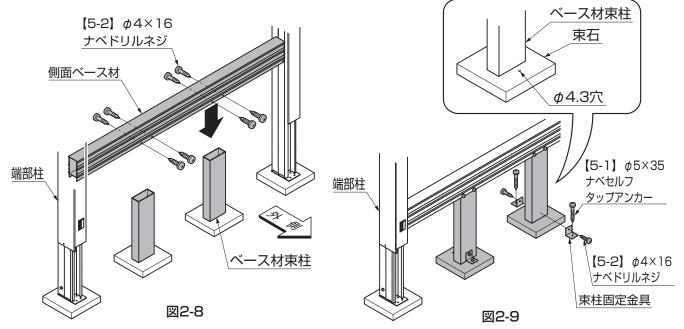


図2-7

アポイント

●図2-7は柱を埋め込む場合を示します。

2-5 側面ベース材の施工 ※側面ベース材を前面出入口用として使用します。



- ①側面ベース材を875mmで切断してください。
- ②柱ベース取付材金具下面より3mm下に側面ベース材上面がくるように、ベース材束柱または束石を調整してください。
- ③ベース材束柱を側面ベース材に【5-2】で取付けてください。

ルポイント

- ●ベース材束柱は束石の上に仮置きしてください。
- ④束柱固定金具を取付けるベース材束石に φ4.3の穴をあけてください。
- ⑤束柱固定金具をベース材束柱に【5-2】で取付けてください。
- ⑥束柱固定金具をベース材束石に【5-1】で固定してください。

2-6 土間見切り材の取付け ※ベース材仕様で土間用の場合の作業です。

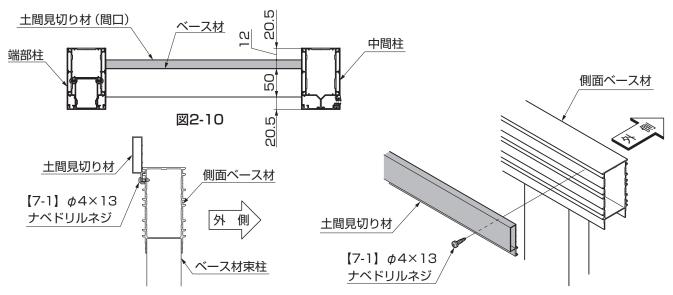
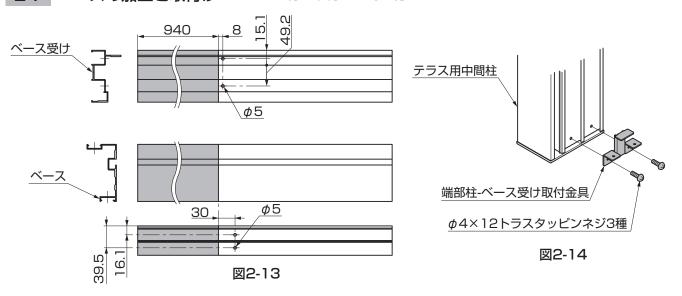


図2-11 土間見切り材の取付け

図2-12 土間見切り材の取付け

- ①側面ベース材と同寸法で土間見切り材を切断加工してください。
- ②土間見切り材をベース材に【7-1】で取付けください。

2-7 ベースの加工と取付け ※ベース材を取付ける時に行なってください。

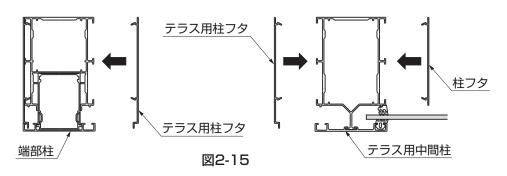


- ①ベース受けとベースを柱1スパン分切断、および穴加工をしてください。(図2-13参照)
- ②テラス用中間柱に端部柱ベース受け取付金具を $\lceil \phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。(図2-14参照)

♬ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

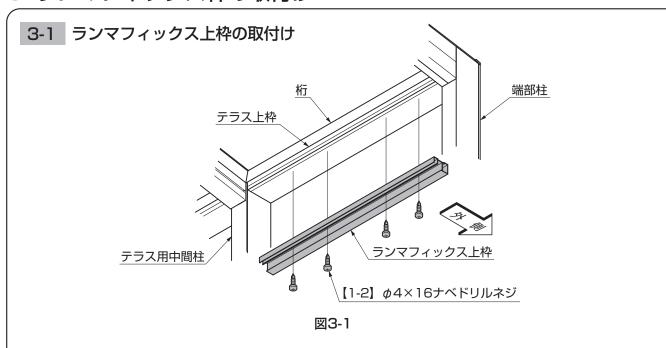
2-8 柱フタの取付け ※柱フタを取付ける時に行なってください。



①端部柱にテラス用柱フタを取付け、テラス用中間柱にテラス用柱フタと柱フタを取付けてください。

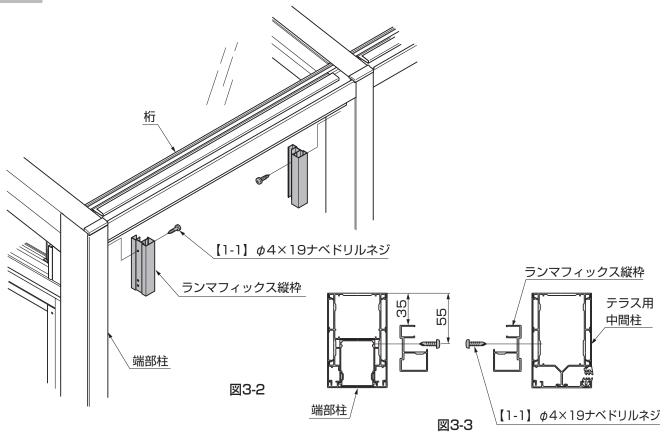
メモ			
•••••	 ••••••	••••••	•••••

3. ランマフィックス枠の取付け



①ランマフィックス上枠をテラス上枠に【1-2】で取付けてください。

3-2 ランマフィックス縦枠の取付け

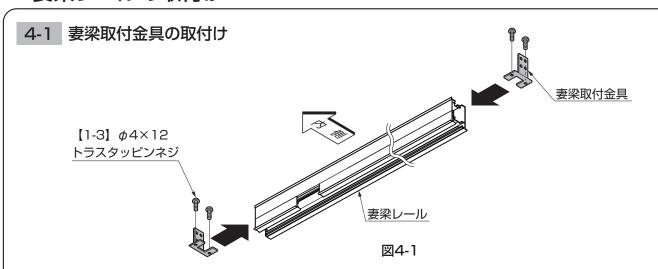


①ランマフィックス縦枠を柱に【1-1】で取付けてください。

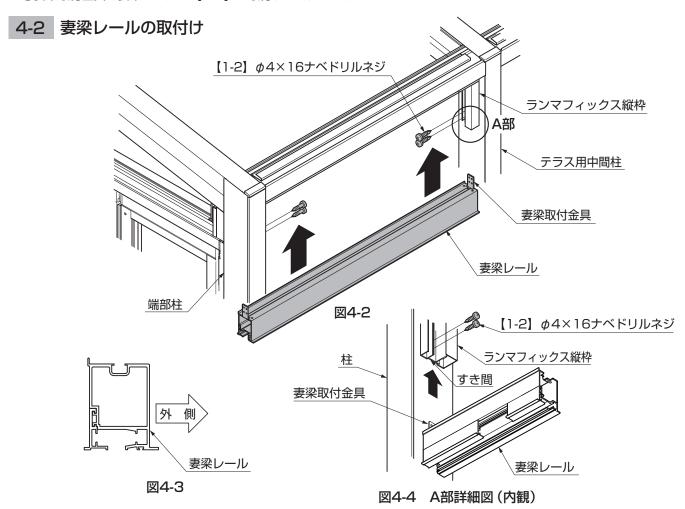
♪ポイント

●ランマフィックス縦枠を固定する穴は、上側2番目で固定してください。(図3-2参照)

4. 妻梁レールの取付け



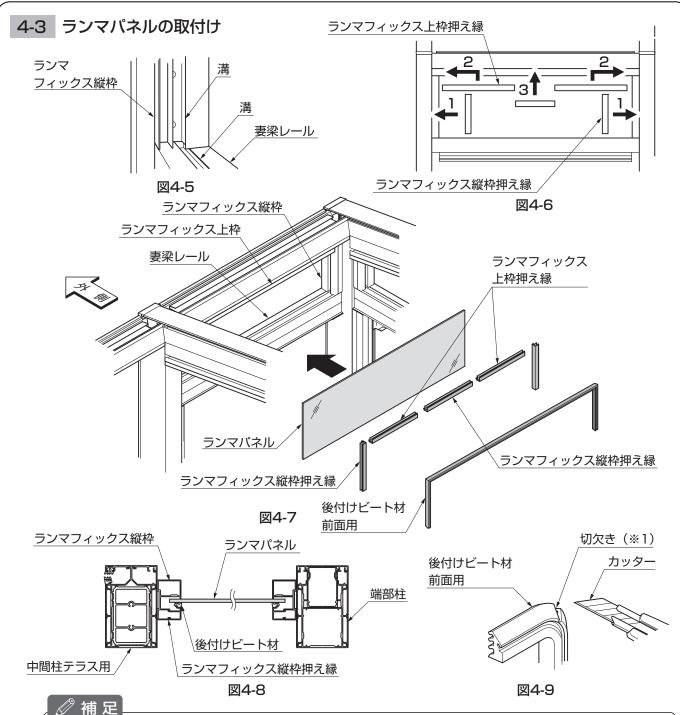
①妻梁取付金具を妻梁レールに【1-3】で取付けてください。



①妻梁レールを柱に【1-2】で取付けてください。

♪ポイント

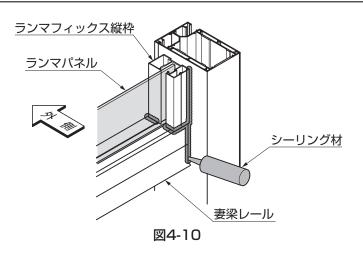
- ●妻梁レールには、取付ける向きがあります。(図4-3参照)
- ●妻梁レールに取付いている妻梁レール取付金具を柱とランマフィックス縦枠の間のすき間に入れて【1-2】で固定してください。(図4-4参照)
- ●妻梁レールと下レールの吊込み口の位置が上下で合うようにしてください。



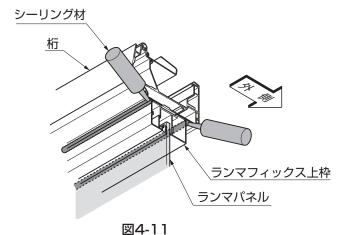
- ●妻梁レールとランマフィックス縦枠を取付けると、それぞれの部品の溝がズレて取付きますが、問題ありません。 (図4-5参照)
- ①ランマパネルをランマフィックス枠、妻梁レールにはめ込んでください。
- ②ランマフィックス押え縁をランマフィックス枠に図4-6の順番ではめ込んでください。(図4-6、図4-7参照)
- ③後付けビート材前面用をはめ込んでください。

アポイント

- ●クールマットはシボ面を家側に施工してください。クリアは裏表ありません。
- ●後付けビート材前面用は長めのビート材が入っているので適切な長さで切断してください。
- ●後付けビート材前面用を折り曲げる箇所にカッター等で切欠きを入れてください。(※1)(図4-9参照)

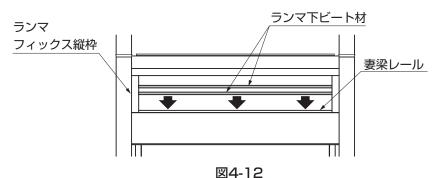


④指定の箇所にシーリングをしてくださ い。(図4-10、図4-11参照)



₽ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



⑤ランマ下ビート材を妻梁レールに2本 はめ込んでください。(図4-12、図4-13参照)

♬ポイント

●ビート材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

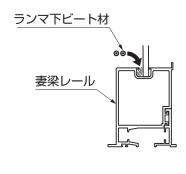
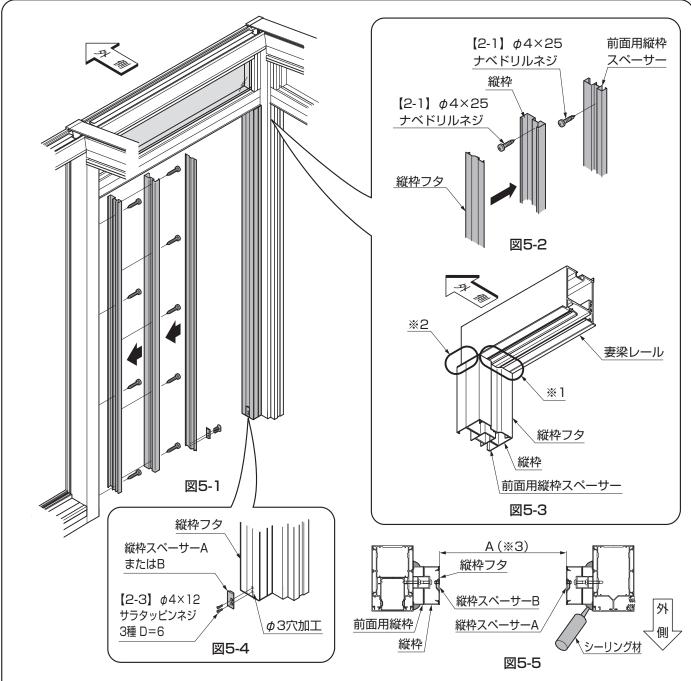


図4-13

5. 前面用縦枠、縦枠フタの取付け

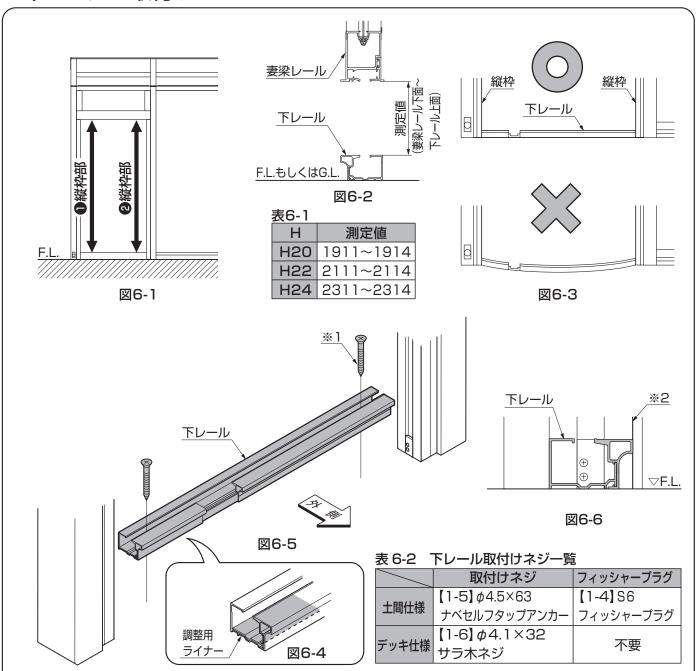


- ①前面用縦枠スペーサーを柱に【2-1】で取付けてください。
- ②縦枠を【2-1】で柱に取付けてください。
- ③縦枠フタを縦枠にはめ込んでください。
- ④縦枠フタに ϕ 3の穴をあけてください。
- ⑤加工した縦枠フタに縦枠スペーサーAまたはBを【2-3】で固定してください。
- ⑥柱を前面用縦枠スペーサーのすき間にシーリングをしてください。
- ⑦A寸法 (※3) が792~794の範囲内であることを確認してください。

ポイント

- ●前面用縦枠スペーサー及び縦枠を取付ける際に高さ方向は、妻梁レールにあてて(※1)、横方向は妻梁レール外側のフィンと縦枠の側面が合う(※2)ようにして取付けてください。
- ●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングしてください。
- ●縦枠スペーサーはAとBがあります。右左でAとBが入れ替わります。

6.下レールの取付け



- ①下レールを仮置きしてください。
- ②図6-1にしたがって①・②を計測し、各部の測定値が表6-1の範囲内であることを確認してください。 プラス側に外れている場合は、下レールの下に調整用ライナーやスペーサーを入れるなどして調整してください。

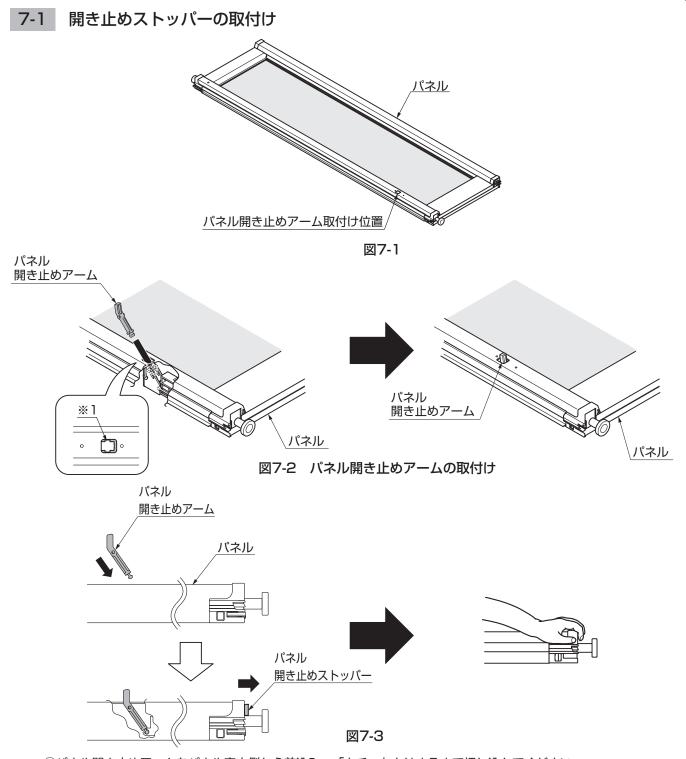
♪ポイント

- ●床の状態に合わせて、下レールの下にスペーサーを入れるなどの調整をしてください。
- ●プラスの寸法分下レールの下に下レール調整用ライナー オプション やスペーサーを入れないとパネルのボトム材が十分に作動せず、十分な止水性能が得られないおそれがあります。(図6-4参照)
- ③下レールを取付けてください。(図6-5)

₽ポイント

- ●下レールを取付けるビス(※1)は表6-2を参照して取付けてください。
- ●下レールは、縦枠の外面(※2)にそろえて取付けてください。
- ●妻梁レールと下レールの吊込み口の位置が上下で合っているか確認してください。

7.パネルの組立て

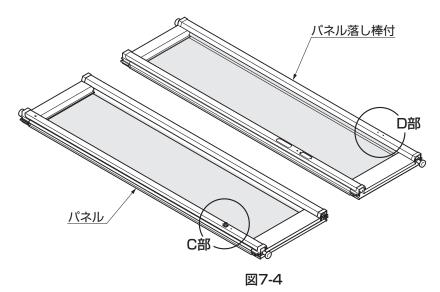


①パネル開き止めアームをパネル室内側から差込み、「カチッ」とはまるまで押し込んでください。

♪ポイント

- ●パネル開き止めアームは、※1の溝にはまるように差込んでください。(図7-2参照)
- ●パネル開き止めアームを差込む際、パネル開き止めストッパーが動いてしまい、パネル開き止めアームが差込めない場合があります。その時は、パネル開き止めストッパーが下に動かないように手でおさえてパネル開き止めアームを差込んでください。(図7-3参照)
- ●パネル開き止めが正しく取付けられると、パネルから突き出た部分が水平となります。

7-2 パネル開き止めの取付け



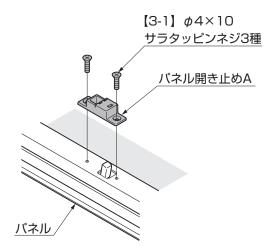
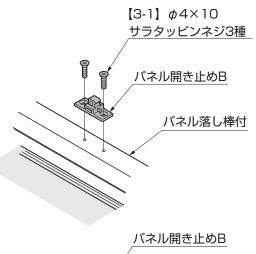


図7-5 C部詳細図 パネル開き止めAの取付け



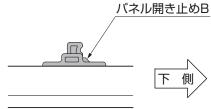


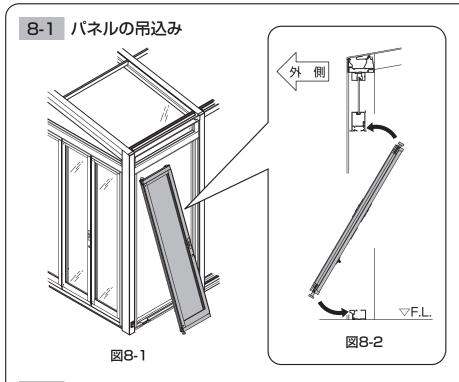
図7-6 D部詳細図 パネル開き止めBの取付け

- ①折戸にパネル開き止めAを【3-1】で取付けてください。
- ②折戸にパネル開き止めBを【3-1】で取付けてください。

ポイント

●パネル開き止めBには上下の向きがあります。(図7-6参照)

8.パネルの吊込み

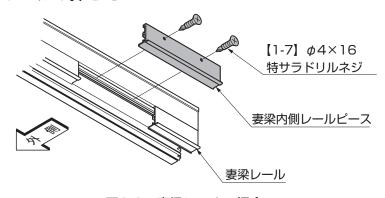


①図8-1、図8-2を参照して、パネルを 吊込んでください。

♪ポイント

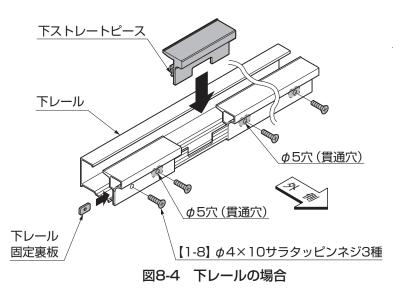
- ●障子やふすまを建込む時と同様に 「けんどん」で建て込んでください。
- ●内観左側を吊り口にする場合はパネル落し棒付、パネルの順に、内観右側を吊り口にする場合はパネル、パネル落し棒付の順に吊込んでください。

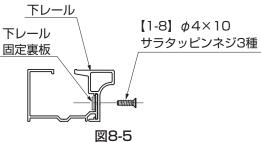
8-2 レールの押さえ



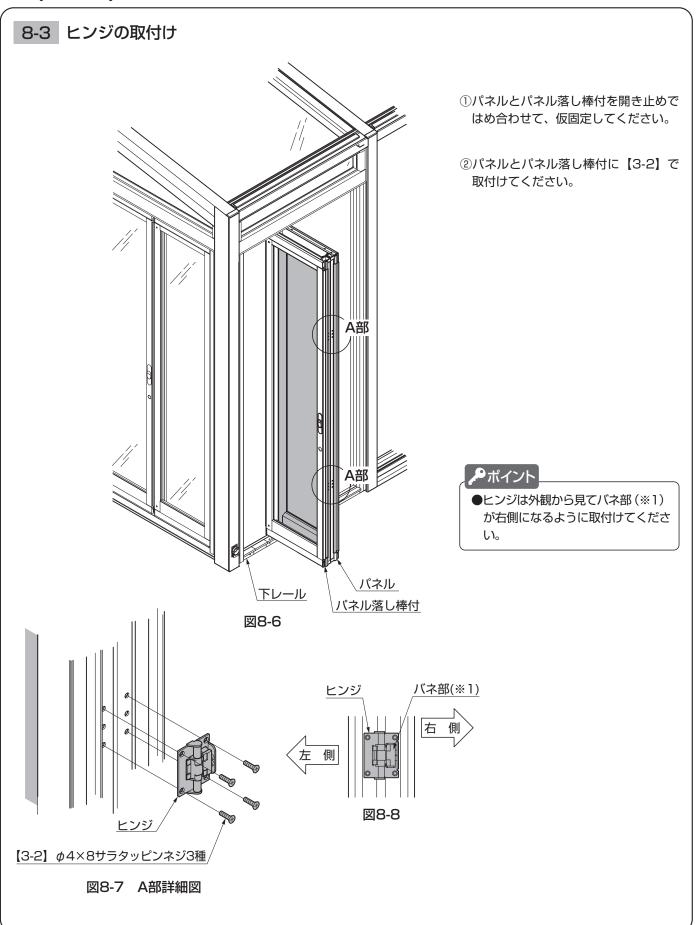
①妻梁内側レールピースを妻梁レールに 【1-7】で取付けてください。

図8-3 妻梁レールの場合





- ①下レールに φ5の穴 (貫通穴) あけてください。
- ②下レール固定裏板を下レールにはめ込 こみ【1-8】で取付けてください。
- ③下ストレートピースを、下レールには め込んでください。



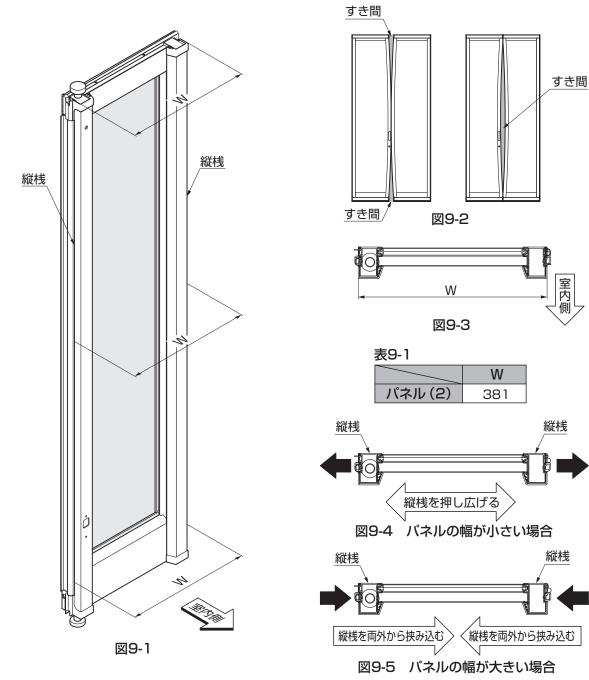
9. パネル寸法の確認

9-1

・ノイイング・リングへつが用いい

パネル幅の調整

- ※図は折戸パネルを示します。
- ※フィックスパネルの場合も同様に作業を行なってください。



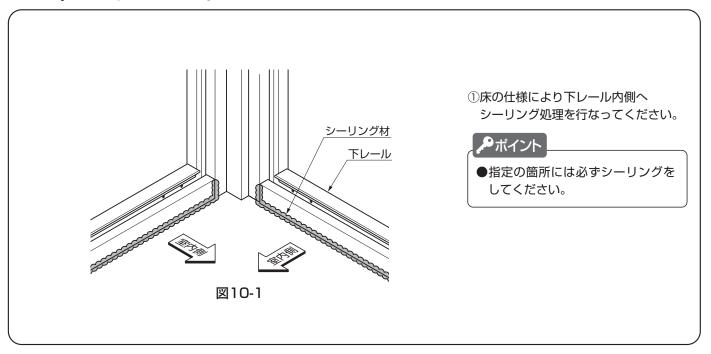
アポイント

- ●パネルがゆがんですき間があいている場合、幅の調整を行なってください。(図9-2参照)
- ①すべての作業が終了したら、パネル1枚毎に縦桟形材の外々寸法を室内側より集計してください。
- ②パネル上部、中間部、下部の3箇所を計測し、全て表9-1の寸法Wになっていることを確認してください。

ポイント

- ●パネルの幅が小さかった場合を縦桟を少し押し広げて、寸法を合わせてください。
- ●パネルの幅が大きかった場合はパネル縦桟を両外から挟み込んで、寸法を合わせてください。

10. 下レールのシーリング



11. パネルをご使用される前に

